

2019年10月3日

SOMPOホールディングス株式会社

駐車場シェアリング事業への新規参入

～akippa への出資による関連会社化～

SOMPOホールディングス株式会社（グループCEO執行役社長：櫻田 謙悟、以下「SOMPOホールディングス」）は、駐車場シェアリング事業※の最大手である akippa 株式会社（代表取締役社長CEO：金谷 元気、本社：大阪府大阪市、以下「akippa」）の株式約33.4%を10月1日付の出資と既存株主からの譲渡により取得し、関連会社化しました。

※ 駐車場シェアリング事業とは、駐車場の利用者と遊休駐車場を所有するオーナーを仲介する事業です。

1. 駐車場シェアリング事業参入の背景・目的

MaaS（Mobility as a Service＝移動のサービス化）は、あらゆる交通手段を一元的に移動サービスへ統合することで、利便性の向上や効率化を図る取り組みです。近年では、未来投資会議のテーマに初めて取り上げられるなど、自動車業界にとどまらずさまざまな分野で注目されています。

SOMPOホールディングスは、自動運転サービス実証ソリューションの開発や個人間カーシェアリング事業、マイカーリース事業に参入するなど、MaaS 関連事業を将来に向けた成長分野と位置付け、「安心・安全・健康のテーマパーク」へのトランスフォーメーションの実現に向け、事業領域の拡大に取り組んできました。

このたびSOMPOホールディングスは、MaaS関連事業の新たな成長ドライバーとして、駐車場シェアリング事業への参入を決定し、取り組みをさらに加速させます。

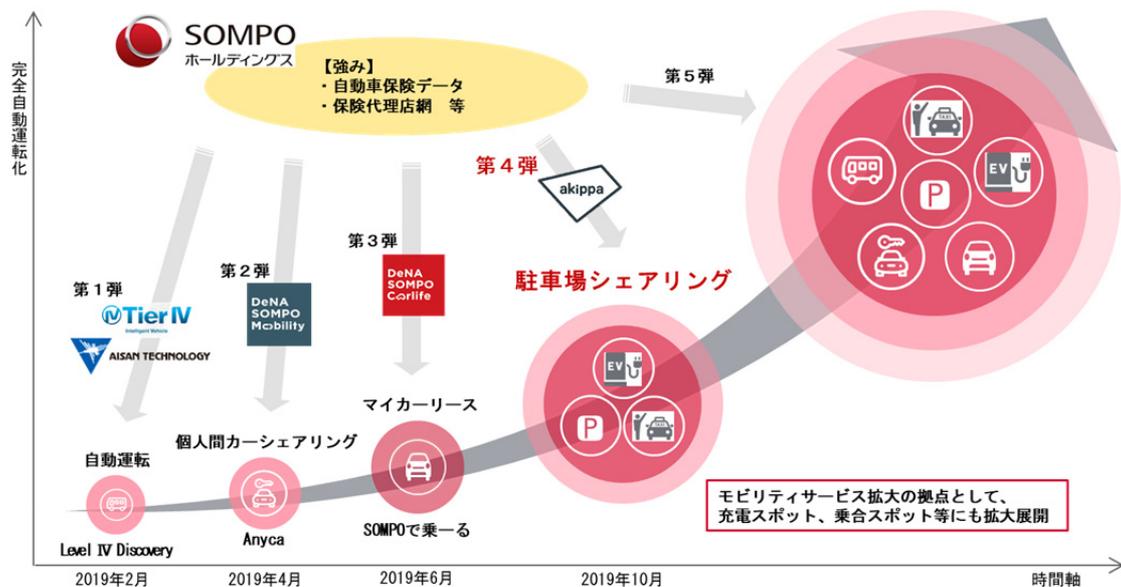
2. 駐車場シェアリング事業の概要

「安心・安全」を届ける約5万店のリアルな保険代理店網と約1,300万件の自動車保険データを保有するSOMPOホールディングスの強みと、Webプラットフォームサービスのノウハウを所持するakippaの強みを活かし、リアルとデジタルを融合させることで、akippaのシェアリング型駐車場および会員数の拡大を目指します。

具体的には、自動車を手放したことなどにより遊休スペースを持つお客さまに対して、損害保険ジャパン日本興亜株式会社（取締役社長：西澤 敬二、以下「損保ジャパン日本興亜」）の保険代理店からシェアリング型駐車場への登録を提案します。

保険代理店に紹介手数料が入るため、代理店にとっては保険以外の収益源獲得につながります。

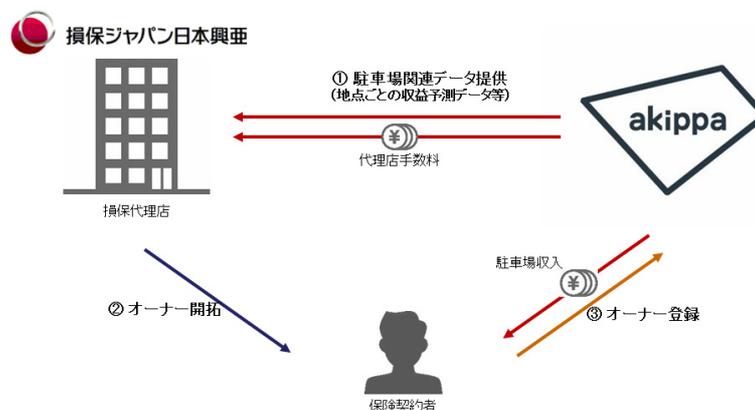
<MaaS 関連事業への参入全体像>



3. 今後の取組みについて

(1) 事業拡大イメージ

駐車場シェアリング業界は、2030年度までに約600億～1,000億円規模の市場※に成長する見込みです。現在 akippa の会員数は約150万人、駐車場の拠点数は全国約3万拠点ですが、SOMPOホールディングスとの戦略的業務提携の効果も合わせ、3年後の2022年には会員数を1,000万人、駐車場の拠点数は20万拠点まで拡大していく計画です。



※ 各種調査データに基づき、SOMPOホールディングスが駐車場シェアリング市場成長性を独自算出

(2) 駐車場シェアリング専用保険の提供検討

駐車中におけるオーナー・ユーザー双方の不安を、保険を通して解決していくことを目指し、駐車場での自動車リスクに特化した専用保険の提供を検討していきます。

(3) 個人間カーシェアリング「Anyca」・マイカーリース「SOMPOで乗える」との協業

個人間カーシェアリングの受渡し拠点として akippa の安価な駐車場を活用することで利便性を高め、利用の拡大につなげます。また、「駐車場があれば車を購入したい」「広い駐車場があれば大きな車を買いたい」という顧客ニーズに対応し、マイカーリースの販売拡大につなげます。

【ご参考】

akippa の概要

企業名	akippa 株式会社
本社所在地	〒550-0005 大阪府大阪市西区西本町1丁目2番1号 AXIS 本町ビル 9F
設立年月	2009年2月（駐車場シェアリング事業は2014年開始）
代表者	代表取締役社長 CEO 金谷 元気
資本金	20億円（資本準備金含む）（2019年10月1日時点）
主な事業内容	駐車場予約アプリ「akippa」の運営
サービス概要	akippa の提供する駐車場シェアリング事業は、従来の時間貸し駐車場と比較すると、利用者は駐車場の事前予約やクレジットカード等での事前決済が可能となり、比較的安価に利用できます。また、駐車場オーナーにとっては、初期投資が不要であり、1車室分の遊休スペースからでも貸し出し可能です。

<サービスイメージ>



以上